

## 水産物来週の見通し (3/1~3/6)

### 【鮮魚の概要】

たち類、助宗子などの腹物は入荷減。ニシンは最盛期となる。一般鮮魚は入荷多め、価格は全体的に高めでしょう。

### 【主要品目】

**鮮マグロ**⇒本マグロは、長崎産、鹿児島産の国産養殖とメキシコ産の養殖が中心の入荷。価格は安定。

**ホタテ** ⇒標津産、野付産、噴火湾産が中心の入荷で、価格は安定。

**ホッキ** ⇒胆振産、道東産が中心の入荷。数量安定、価格安定。

**ウニ** ⇒道東産、ロシア産が中心の入荷。数量安定、価格安定。

**貝ツブ** ⇒真つぶは、様似産、広尾産が中心の入荷。数量不安定、価格不安定。

**キンキ** ⇒根室産、羅臼産、日高産が中心の入荷。数量不安定、価格不安定。

**ヒラメ** ⇒日本海産、噴火湾産、九州産、青森産が中心の入荷。入荷不安定、価格不安定。

**真鱈** ⇒広尾産、日本海産が中心の入荷。数量安定、価格安定。

**毛ガニ** ⇒厚岸ほか太平洋からの入荷。数量不安定、価格高め。

**カレイ** ⇒日本海方面、道東方面が中心の入荷。数量不安定、価格は高め安定。

**やりいか**⇒青森産の入荷で、数量・価格ともに不安定。

**ニシン** ⇒石狩ほか日本海、道東方面から入荷。価格は安定。

**アサリ** ⇒厚岸、浜中方面からの入荷。数量安定も、価格は高め。

**エビ** ⇒噴火湾でボタンえび漁が始まり、価格次第だが入荷は増える見込み。  
南蛮えびは、羽幌、増毛より入荷。価格は高め。